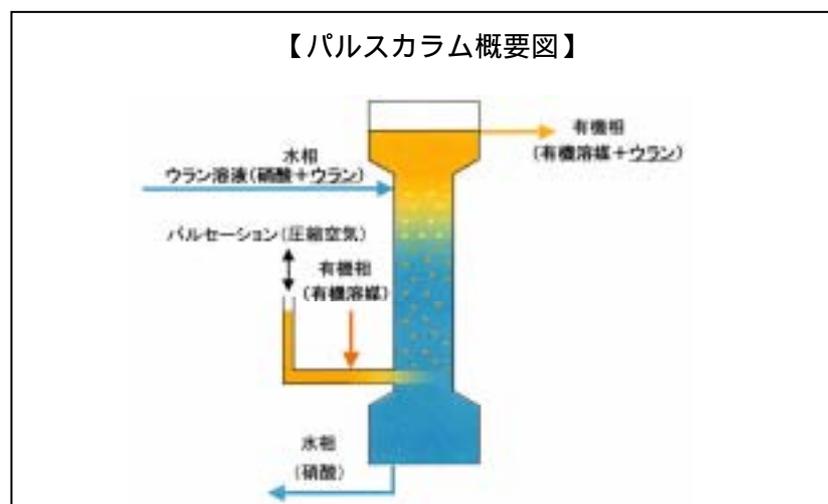


分離建屋では、ウラン溶液を2月14日に受入れ、ウラン設備の調整および性能（抽出性能など）の確認試験を実施しています。

ウラン溶液は模擬ウラン燃料集合体をせん断・溶解して得られたものと、ウラン粉末を溶解したものを用いています。

パルスカラム ; 形状は円筒状あるいは円環状で、高さは約13m。内部に分散板と呼ばれるものを水平に配し、上部から供給された水相<sup>\*1</sup>は下方へ、下部から供給された有機相<sup>\*1</sup>は上方に移動する。この時に脈動を与え、両相の分散混合を図る。



\* 1 水相と有機相 ; 水相とは硝酸ウラン溶液のこと。

有機相は、リン酸トリブチル(TBP)を希釈剤(ノルマルドデカン)で約30%に希釈した溶媒である。希釈剤(ノルマルドデカン)で希釈するのはTBPに適度な粘度、比重を与えるためである。